

凸版印刷株式会社

代表取締役社長 金子 眞吾

本社 東京都千代田区神田和泉町1番地

## 情報セキュリティ格付け・第三者証明書取得企業の声 <凸版印刷株式会社> 「印刷テクノロジー」で新しい決済ソリューションを提供

～『ギフトカードASPサービス』について情報セキュリティ格付けAAais・第三者証明書を取得～

凸版印刷が注力している事業の一つが『ギフトカードASPサービス』。このサービスはプリペイドカードの残高をサーバで管理し、流通企業や小売店舗が手軽に独自のプリペイドカードが発行できるというもの。新規顧客の獲得や来店促進、アップセルにつながる決済ソリューションとして注目が集まっています。一方で同サービスは、複数の顧客企業の決済情報を管理するため、運用では最高レベルのセキュリティが求められます。トッパングループはセキュリティ管理を重要課題と認識し、情報セキュリティ基本方針を策定。様々な施策を実施しています。

情報セキュリティ格付け・第三者証明書取得の目的や効果について、情報コミュニケーション事業本部担当の佐藤暢晃取締役にお話を伺いました。



取締役 佐藤 暢晃様

### お客様からお預かりする情報の安全管理は私たちの至上命題

～自己説明の正当性を強く後押ししてくれる情報セキュリティ格付け・第三者証明書～

トッパングループでは、企業理念、経営信条の下に具体的な行動指針を定めています。さらに情報セキュリティ基本方針として「事業に関わる情報の重要性を認識し、適切に管理する」ことを基本原則としています。お客様からお預かりする大切な情報資産を安全に管理し、安心して活用いただけるような万全な情報セキュリティ管理体制を確立することは当社の至上命題であり、まさに情報コミュニケーション事業本部における生命線とも言えます。

情報セキュリティ管理体制を確実なものとするために運営管理実行組織を設置し、グループ全体の情報セキュリティガバナンスを図っています。悪意のある内部者による預託個人情報の持出しをも防止する観点から、セキュリティエリア管理や認定委託先管理、個人情報のライフサイクル管理等にも取り組んでいます。

『ギフトカードASPサービス』は、2006年に国内で初めて本格的サービスを開始しました。当初、日本ではギフトカードビジネスがここまで急速に成長するとは考えられていませんでしたが、今やギフトカードは贈答用途から個人ユースであるハウス電子マネー用途へと拡大しています。本サービスでの取扱い金額も急激に伸び、データのトランザクション数も増え、システムの信頼性・安全性がより求められるようになってきました。しかし、万全の管理体制を取っていても、お客様に十分に信頼していただくためには、自らの説明だけでは限界があります。

また、『ギフトカードASPサービス』は富士通エフ・アイ・ピー(以下、富士通 FIP)との共同で運営しております。両社にまたがる情報セキュリティ管理体制についてお客様に納得いただくには、これまで情報セキュリティ事故が発生していないという実績だけでは足りません。

これらの課題を解決してくれるのは、第三者による公正・中立な評価であることに他なりません。情報セキュリティ格付けと第三者証明書は、客観的な評価として、自己説明を強く後押ししてくれるものであると確信していました。

凸版印刷は『ギフトカードASPサービス』の提供に留まらないプラスαの総合提案を行える強みを持っています。

今回、情報セキュリティ格付けと第三者証明書を取得したことで更なる強みを得たと考えています。

### 多様なニーズに応え更なる事業展開に弾みをつける

～第三者証明の重要度を先取りした積極的な事業への活用～

プリペイド式ギフトカードには資金決済法が適用され、内部規程はもとより、業務委託先などに対しても厳しい管理・監督が求められます。本サービスを導入されるお客様が、本サービスの管理監督をしていることを担保するためにも格付け評価が活かされています。

内部的にも大きな効果が得られました。複数の会社・部署による運営は、それらが一つのシステムとして機能して初めてお客様満足度の高いサービスを提供できると考えており、内部監査や報告会の定期実施だけでは本当に問題はないのか常に不安を感じていました。今回の評価結果を「情報セキュリティ格付事由書」と「第三者証明書」として提供いただきましたが、記載された評価・指摘事項は非常にインパクトのあるものでした。評価事項からは活動内容の適正性や富士通 FIP の高レベルな情報セキュリティ体制を改めて認識することができ、指摘事項により、スピード感をもって改善活動に結びつけることができました。

さらに、格付事由書や第三者証明書の提示により、社外監査等の大幅な省力化・効率化が可能になりました。

『ギフトカードASPサービス』は高い情報セキュリティ体制を一つの武器として、自社の様々なソリューションとの総合提案を強化し、事業を更に拡大していく計画です。そのためにも、より多くの組織・機関で情報セキュリティ格付けと第三者証明書の取得が広がり、デファクトスタンダードになることを期待しています。